

全酪連会報 6

2026 JUN No.729



若手後継者の本音／
有限会社三義農産
小川瑛さん

第53回
全国酪農青年女性酪農発表大会
発表者決定!!

水際対策で家畜伝染病予防を!7

酪農部だより／
キッチンカー「らくのうマルシェ号」が
代々木に登場!

日本酪農見て歩紀／
吉田牧場(北海道中川郡本別町)

酪農トピックス

全酪新報ダイジェスト版

栄えある春の叙勲

作品募集のお知らせ

全酪連ギフト商品について

第53回 全国酪農青年女性
酪農発表大会開催のお知らせ

全酪連 定期刊行物のご案内

バックナンバーはQRコードから閲覧いただけます。



全酪連会報

→ <https://www.zenrakuren.or.jp/kaiho/>

COWBELL

→ <https://www.zenrakuren.or.jp/cowbell/>



フォローして最新情報をチェック



全酪連 X公式アカウント

はじめました!

@zenrakuren



全国酪農業協同組合連合会

今回ご紹介するのは、沖縄県宜野座村で酪農を営む有限会社三義農産の小川瑛さん（39歳）です。所属している沖縄県酪農農業協同組合（高宮城実孝代表理事組合長）は、生乳出荷戸数43戸（令和8年3月時点）、年間生乳生産量は15,080t（令和7年度実績）となっています。

牧場と地域の概要

小川さんの住む宜野座村は沖縄本島のほぼ中心部に位置する人口約6,300人のとても小さな村です。マンゴーやパイナップル、イチゴ、サトウキビなどさまざまな農産物の栽培も盛んで、全国的には阪神タイガースのキャンプ地としても有名です。

有限会社三義農産は、昭和55年に沖縄市で経営していた牧場を農業公社牧場設置事業の助成を受けて宜野座村に移転し、法人化して今に至ります。当時は同じ村内に十数戸の酪農家があったと聞いていますが、現在は1戸だけとなっています。



しました。

現在は経産牛20頭、育成牛10頭をフリーストール牛舎と約4haの牧草地を利用し、70代の義父、義母と妻、小川さんの4人で牧場を営んでいます。同じ村内には義父の経営するアイスクリーム屋もあります。

酪農に携わったきっかけ

「まさか自分が沖縄に移住し、酪農の仕事に携わることになるとは思ってもいませんでした」と語る小川さんは東京都出身。これまで農業とは縁のない生活を送り、東京都内のNPO法人で、ひきこもりやニートの若者に対する訪問支援や家族相談、生活・就労支援など、行政からの委託業務に携わってきました。

就農のきっかけは、奥様との結婚でした。奥様から「両親の高齢化により牧場の運営が大変になってきている。継ぐのであれば今がタイミングだと思う」といった話を受け、将来について真剣に考えるようになったそうです。

前職には10年間従事していましたが、コロナ禍における社会情勢の変化の中で、仕事の難しさを感じる場面もあったといいます。そうした背景もあり、2022年4月に沖縄へ移住し、新たな挑戦として、まさに『農業未経験、異郷の地で酪農の道に進む』ことを決意されました。

今回は、沖縄県宜野座村有限会社三義農産の後継者小川瑛さんにお話を伺いました。

今、何を考え、何を伝えたいのか？

沖縄へ移住したものの、右も左も分からない中で酪農に従事され、4年が経ちました。これまで全く異なる分野の仕事に携わってきたので、何も分からない状態から酪農を始められましたが、酪農という仕事は幅広い能力が求められるからこそ、これまでの経験を活かすことができていると感じています。

これまでに積み上げてきた経験という引き出しの中から、何かしらの強みや得意分野を見出せることが、この仕事の魅力の一つだとおっしゃっています。

周囲の酪農家とのつながり

自分たちの牧場で仕事をしていると、「他の牧場はどのように取り組んでいるのだろう」と感じることも多くあるそうです。酪農家出身で



▲牛舎

若手後継者の

本音

Vol.81

〔経営概況〕

所 属 沖縄県酪農農業協同組合(高宮城実孝代表理事組合長)

家族構成 義父、義母、妻、小川さん

飼養頭数 経産牛20頭、育成牛10頭

いきょう 農業未経験、異郷の地で 酪農に携わって4年

もなく、農業を専門的に学んできたわけでもないため、自分たちのやり方だけにとどまっていたのは視野が広がらないと感じたそうです。そこで組合に相談し、意見交換会や勉強会に参加し、他の牧場を見学する機会を設けていただきました。

そうした交流を重ねる中で、徐々に他の酪農家の方々とも顔見知りとなり、さまざまなアドバイスをいただけるようになったそうです。知り合いがほとんどいなくなった小川さんにとって、大変ありがたい機会だと感じており、分からないことをそのままにせず、積極的に質問し、教えていただいたことは大きな財産になっているとのこと。また、牧場ごとに飼養方法や牛舎の構成、飼料設計、給餌方法などが大きく異なることを知り、それぞれに特色があることに

も強い刺激を受けられ、今後も組合の勉強会等には積極的に参加し、学びを深めていきたいと成長意欲に溢れた向上心の高い小川さんです。

今後の課題や将来の展望・目標

現在、飼養管理技術の向上や経営規模の拡大、自給飼料の生産に加え、六次産業化も視野に入れた収益力の強化など、多くの課題があります。その中でも特に、今後は経営面への関わりを段階的に高めていくことが重要だと考えているそうです。義父母も高齢となってきたり、これまで4人の労働力を前提としてきた経営体制をどのように見直していくかが大きな課題です。持続可能な経営を目指し、体制の再構築に取り組んでいきたいと考えている、と力強く語ってくれました。



▲ 六次化に向けた自作小屋



▲ 宜野座村の海



▲ 子牛について講習会

全国の若手後継者の皆さんへの一言!



仕事内容だけでなく、人との関わりが自分に合うかどうか大切だと思います。周囲との交流を楽しめる環境であれば、自然と仕事も続けていけるのだと感じています。実際これまで続けてこられたのは、周りの方々との良い関係に支えられてきたからです。だからこそ、日頃から人とのつながりを大切にしていきたいと考えています。これから就農される方も、人とのつながりを大切にしながら、自分に合った環境を築いてほしいです。

第53回 全国酪農青年女性酪農発表大会

発表者決定!!

「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」（全国酪農青年女性会議（中村俊介委員長）と本会共催）を7月9日・10日に沖縄県那覇市「ロワジーホテル那覇」にて開催いたします。

是非、各地域会議から選ばれた11名の皆様の発表を聞きに、会場に足を運んでいただけるのをお待ちしております。

今号では各地域会議の代表となられた発表者をご紹介します。

経営発表の部



西日本酪農青年女性会議
おみやま酪農協同組合
ながつね やすひろ
長恒 泰裕 さん

高水準を貫く酪農経営
〜循環型モデルで実現する品質と収益性〜

父の代から続く牧場に平成21年に就農し、令和3年にお父さまから経営を引継ぎ、代表取締役就任。牧場の転換期は牛舎新設による効率の良い牧場経営の移行。長期的に収益性を向上させていくために今まで学

んだことを基礎に様々な牧場の情報収集を行い、設備投資を実施。牛舎での作業の省力化により自給飼料生産へ労力を投下出来ているため、循環型酪農のモデルとして好循環を生み出している。



北海道酪農青年女性会議
浜中町農業協同組合
まさきの ようた
牧野 陽太 さん

経営力強化に向けた新規就農

後継者として実家に就農し、経営改善の結果一定の成果を出したものの、自分にとって魅力的な経営ではないと判断。そこから、理想の酪農を求めて新規就農。草地型酪農に転換し、牛を健康に飼うというシンプルな方法で、労働時間の短縮、所得率の向上、飼料費増加コストの回避など、理想としての経営を実現している。



九州酪農青年女性会議
宮崎県農業協同組合
ひくふみの ひろゆき
福留 寛行 さん

リフレッシュしながら黒子経営を目指す

お祖父様の代から酪農に取り組み、高能力牛の受精卵をフレッシュした3代目。技術的には、空胎シユで移植し、受胎率を高めていく。日数の短縮を意識しながら、獣医師の先生とも連携し繁殖管理を行う。収益性の点で経常所得率が高い現場でのOPU・IVFにも取りをされている点が高く評価された。



東北酪農青年女性会議

みやぎの酪農農業協同組合

千葉進也さん

地域と歩む酪農

〜生存戦略としての継承と発展〜

30歳での就農後12年、様々な失敗を糧に「正しいことを疑い、自ら検証し経験する」ことを大切に取組み組んできた。自給粗飼料の増産に努め、給与粗飼料のほぼ自給を成し遂げた。また、人工授精師の

免許を取得し、雌雄判別精液の利用による牛群改良と後継牛の確保も行っている。今後は、将来に向けて第三者継承も視野に入れた家族経営による酪農の充実に努めることを目指している。



関東甲信越酪農青年女性会議

伊那酪農農業協同組合

網野雄一さん

就農20年目の答え合わせ

祖父の代から続く牧場に就農。リーマンショックの影響は網野牧場にも及び経営は厳しくなり、給料も満足にもならない日々が5年間続いた。その後、父親から経営を継承され、令和5年に自己資金により72頭牛舎を新築し、自給飼料を活用できる飼料調整庫をクラスター事業を活用し建設。28haという都府県レベルを超え

る自給飼料地を活用し、粗飼料の95%を自給で賄っている。また、コントラクター組合「ますみヶ丘フォルト組合」の役員として、地域の休耕地を活用して高品質なデントコーンサイレージを大量に作り、地域に供給している。さらに、近隣小学校への牧場見学、長野県内の小学生バスケットボール大会

の主催等をとおして酪農への理解醸成活動、牛乳乳製品の消費拡大活動にも積極的に携わっている。自らの経営課題も的確に把握さ

れる、今後も堅実な酪農経営に徹していくとともに、地域の若手リーダーとしても今後の活躍が大いに期待される。

意見・体験発表の部



九州酪農青年女性会議

鹿児島酪農農業協同組合

横山さとみさん

家族の絆

〜動き出した私たちの酪農経営〜

新牛舎が完成し、兄が父から経営を引き継いだ矢先、兄が急逝。ご両親を支えるために、ご本人と酪農経験のないご主人とともに経営に関わることになり、慣れない

作業や環境に苦戦する毎日。酪農を学んで帰ってきた甥御さんとの関係を深め、より良い経営を目指していく姿は、家族経営の酪農の大切さを感じられる。



西日本酪農青年女性会議

広島県酪農農業協同組合

小川香奈さん

行け！我が想いよ！イッツショウタイム！！

「責方と一緒に♡」
〜愛を届ける人になりたいくて（*、旨*）〜

やりたい事がありすぎて進路を決められずにいた学生時代の夏休み、実家に帰って餌やりの手伝い

中に見慣れているはずの牛の瞳に一目惚れ。「やりたい事が全部出来る」と牧場への就農を決めた。

酪農教育ファームの1期生として活動、関係者との関係構築・協力のもと一般消費者に向けたアピールが素晴らしく、周囲を巻き込んで活動している。特に若手女

性グループ「ときめき隊」の活動はメディアへ発信することで酪農の理解醸成に大いに繋がっている。小川さんの牛を愛する想いを全国に届ける。



北海道酪農青年女性会議
中標津町農業協同組合

藤井 季樹 さん

今日の一本が、3年後の牧場を変える

後継者として実家に就農。作業性向上のため牛を改善したいと言う思いから、改良をスタート。試行錯誤ではあったが「遺伝改良は最高の先行投資」とひとつひとつ積み上げた結果、受胎率の向上、乳量の増加、

乳成分の安定のほか、課題であった乳頭配置も改善した。7年間の歳月をかけ、また現在も進行形で臨む経験を踏まえて、遺伝改良の重要性を発表する。



関東甲信越酪農青年女性会議
酪農（とうぎ）農業協同組合

荒井 芳幸 さん

「平田ロツソ牛」循環型酪農の挑戦と赤に込めた地元への情熱

サラリーマンから実家の酪農経営を引き継ぎ、地元の田園地帯を活かした耕畜連携による稲WCSの導

入、地元の豆腐粕やブドウ粕の導入を積極的に進めている。一方、地元のイタリアンレストラン

ンのシェフとの出会いから、自らの牧場の経産牛を食材として供給し、今では地元の地名を冠した「平田

ロツソ牛」としてふるさと納税の返礼品に選ばれるまで付加価値を高めている。



中部酪農青年女性会議
三重県酪農農業協同組合

村岡 悦史 さん

私と酪農 出会い そしてこれから

サラリーマン家庭で育ったが、農業の現場で働く人たちに魅せられて大学卒業を待たずにその渦中に飛び込み、自分の中に起きた変化の歴史について語る。現在は、ロボット8基をメイン

に、補助機能に8頭ダブルパーラーを稼働させる。果樹、野菜などの他農業部門を経験した後だからこそみえる酪農観を皆さんに知っていただきたい。



東北酪農青年女性会議
岩手県中央酪農農業協同組合

山中 涼穂 さん

21歳の私

本人が持つ大きな「好奇心」が原動力となり、刺激された「行動力」を活発に働かせ、たくさんの「出会い」を生んできたことが本人の発表内容の全てである。

これからも「好奇心」を衰えさせることなく、更なる「出会い」を得るとともに、今後は新たな取り組みとして、地域や一般消費者との繋がりをたかめることにも期待。

水際対策で 家畜伝染病予防を！

福岡空港国際線にて

「動物検疫広報キャンペーン」

福岡空港国際線旅客ターミナル 実施内容

1. 開催日

令和8年4月21日(火)

2. 実施場所

福岡空港国際線旅客ターミナル

1階 国際線到着口付近

3. 参加者

農林水産省動物検疫所門司支所
及び福岡空港出張所、福岡県農林
水産部、福岡県中央家畜保健衛生
所、ふくおか県酪農業協同組合、
全酪連福岡支所

4. 目的

家畜の悪性伝染病である口蹄疫
やアフリカ豚熱が東アジア諸国で
まん延しており、日本へ侵入する
リスクが高まっている。ゴールドデ
ンウィーク期間中は、日本から海外
への渡航や海外からの国内イベント
への参加目的での入国など人の動き

が活発になることから、入国者等
に対し注意喚起を行う目的で、動
物検疫広報キャンペーンを実施。

5. 内容

- ・ 海外からの肉製品のお土産などの
持込禁止について入国者等へ声かけ
- ・ 広報物の配布による肉製品など
の日本への持込禁止、家畜の施
設に近寄らないよう注意喚起
- ・ 動物検疫所キャラクターの「ク
ンくん」・ふくおか県酪協キャ
ラクターの「スーパークウ」に
よる広報活動の実施

6. 当日の様子

海外からの肉製品等持込禁止を
表記したポケットティッシュ等を
配布しながら、「肉製品の持ち込
みは禁止されています」「家畜の
施設に近寄らないようお願いしま

す」と呼びかけました。メディア
の取材もあり、多くの方々に水際
対策での取組を周知することがで
きました。

その後は、空港内の動物検疫に
係わる業務を見学させていただ
き、入国時に靴底が消毒用マット
を確実に踏むことや、検査場での
動物検疫探知犬による活動や防
疫官による手荷物検査の様子を間
近に見ることが出来ました。

また、動物検疫所門司支所の皆
さんと意見交換も行い、「悪性の
家畜伝染病を日本に持ち込ませな
いのが私たちの使命です」とおっ
しゃったのが印象的でした。

本キャンペーンは昨年に続き2
回目となり、今後も国・県・生産
者・関係団体が協調連携団結して、
家畜伝染病予防に努めなければな
らない、と身の引き締まる活動と
なりました。(M・Y)



キッチンカー「らくらのマルシェ号」が代々木に登場！

酪農会館1階エントランススペースで過去9回開催してきた「らくらのマルシェ」を、今回は新たな試みとしてキッチンカー「らくらのマルシェ号」で、ご当地アイスクリームをはじめ、全国各地の多様な牛乳・乳製品を提供する形で開催しました。

初開催となる5月の期間においては5月12日～14日、19日～21日、26日～28日の9日間、ランチタイムの11時～14時での営業となりました。会場には酪農会館内で働く関係者はもちろん周辺にお住まいの一般の方々や、代々木駅周辺を利用する通勤・通学者など、非常に多くの方々が関心を示し、お立ち寄りいただきました。期間中は気温も高く、アイス販売の呼び込みに足を止めていただく方や、「ご当地の美味しいアイスがあると聞いて来た」という声も聞かれました。

5月はトライアルということもあり、「練乳」「コーヒーソース」

「キャラメルソース」の3種類を無料トッピングとして用意しました。お客様が自分好みの味にカスタマイズできるこの企画は好評で、多くのお客様に楽しんで頂くことができました。同じタイミングで購入されたお客様の中には、どのトッピングの組み合わせにしようかと話される姿もあり、練乳をバニラアイスにかけて召し上がった方からは、「バニラの濃厚さに練乳のコクが加わり、思った以上に合う」といった驚きと喜びの声が寄せられました。こうした「ひと工夫」の提案を通じて、需給調整にもなる練乳の新たな活用方法や楽しみ方の幅を広げる情報発信ができました。

また、今回のキッチンカーイベントと連動する形で、キャッシュレス決済に対応した自動販売機を新たに導入しました。時代のニーズに合わせた決済手段の拡充により、ランチタイム以外でも手軽に牛乳・乳製品を購入できる環境を整えています。

す。キッチンカーによる対面販売としての活用してまいります。全酪連は今後も、このような活動を通じて生産者の想いを消費者に届け、牛乳乳製品のさらなる需要拡大に取り組んでまいります。

「日常的な利便性」。この両輪を回すことで消費者へ向けて常に牛乳乳製品の価値を発信し続ける「拠点」



見て歩紀

No. 396

吉田牧場

北海道中川郡本別町

手間をかけて作る こだわりの牛



▲ 左より吉田誠一さん、紳二さん、本会札幌支所 中村職員



▲ 導入牛群 1 番乾草をたっぷり与える

この度ご紹介いたします吉田牧場は、十勝東北部の本別町にあります。乳牛の育成牧場です。本別町は農業を基幹産業とし、特産品の豆を中心し、小麦、甜菜、馬鈴薯といった

畑作と、酪農や乳牛・肉用牛を育成する畜産が盛んにおこなわれています。所属する本別町農業協同組合(佐野政利代表理事組合長)は、生乳出荷戸数40戸、出荷乳量は約44、

496t(いずれも令和6年度末時点)、また育成牧場は17戸となっています。

吉田牧場は経営主であり3代目の吉田誠一さんと奥様、後継者の紳二さん3名で、育成牛約150頭を飼養しており、そのうち約120頭を全酪連販売預託事業で受け入れていきます。もともとは市場を通じた初妊牛販売を行っていましたが、平成18年に紹介を受



北海道中川郡本別町

け全酪連預託事業に参加されました。最初は20頭程度の不規則な上牧が続きましたが、開始2〜3年目からコンスタントに上牧されるようになり、以来20年間預託牧場として本事業を支えてくださっています。

快適な環境を常に意識

上牧された牛は、まず一頭ずつ係留して削蹄が行われます。長く伸びた蹄の先端を切り落とす形で削蹄を行うことで、管理上のリスク回避に繋がります。導入後2週間程度は群分けせずに乾草を飽食させてルーメンの発育を促し、その後は月齢と体高による群管理に移ります。牛舎は屋根付きのフリーバーンにパドックが隣接したもので、本別町の育成牧場ではよく見られるものさうです。パドックには火山灰を敷き、蹄病予防にも努めています。また、牛舎のスペースには余裕を持ち、過密による事故を防ぎ、ストレスなく運動できる環境を優先しているそうです。スタン

▲パドックは3つに区切られ、細かく管理されている

チオンはなく（昔はあったそうですが管理しづらく止めたとのこと）、授精や牛の移動にはモクシをかけて行います。時

間がかからないか尋ねると、「初めてモクシをかける牛、人馴れしていない牛は暴れるが、何度もかけていけばだんだんとおとなしくなる。ふれあいの時間のようなもの」とお話しされました。パドックの除糞もこまめに行い、夏場は虫よけの消毒も定期的の実施するそう、吉田牧場の牛たちは快適な環境で、おとなしくゆったりと過ごしていました。

良質な粗飼料による腹づくり、放牧による強い脚づくり

畑作地帯であることから、吉田牧場の畑は牧草が18ha、デントコーン8haで、飼料以外の作物として豆4・8ha、小麦9haを作付けしており、収穫作業もすべてご家族で行っています。夏場は自給飼料のデントコー



▲頭数の増加に伴い手作りした牛舎

ンと道東方面より購入するグラスサイレージ、冬場はグラスサイレージがしばれて（凍って）しまうため、代わりに製糖工場より生ビートパルプを仕入れて朝晩2回与えています。牧草はチモシーをすべて乾草にし、基本的に1番牧草のみを使用するため、栄養価の高い粗飼料がふんだんに給与されます。授精は月齢のほか発育を見ながら適期に行うこと



を心掛けており、牛が観察しやすいパドックに授精待機牛群を置き、発情発見率を高めています。受胎した牛は放牧により下牧まで十分に運動をさせるなど、脚の強い牛を意識しています。

育成農家と経営者のジレンマ

全酪連預託牧場として20年間お付き合っていた吉田牧場。リピーターも多く、委託農家が視察に来た際、吉田牧場の徹底した管理を見て「ここに預けたい！」と話されることもあるそうです。紳二さんも追跡調査として委託農家を訪問するなど、信頼関係を作られており、だからこそ酪農家にとって喜ばれるしつかりした牛を作りたいと考えています。一方で、飼料費、共済費、輸送費など、あらゆる管理費用の高騰に頭を悩ませておられました。近年の夏場の高温も、牧草収量や受胎率に悪影響を及ぼしています。預託料については今年度改定予定となっているものの、改定が決定したとしても、すでに上牧されている牛には適応されないため、かじ取りが難しい毎日です。「デントコーンをやめれば経費圧縮となるし、牧草で育つ

た牛は長持ちする。そう考えれば、経費をかけなくても長命連産の牛を作れることもできる。授精についても、小さな牛でも受胎さえ早期にできれば預託農家にとっては問題ない。しかしそれで本州の酪農家を長期的に支えられるのだろうか。預けてもらっている信頼に応えるためにも、しつかりとパワーのある牛を作りたい。」このように誠一さんはお話しされました。また、上牧時に小さい牛については、同じように粗飼料を飽食し運動をさせてもなかなか軌道修正が難しいとのこと。預託前の管理の重要性についてもお話しされていました。育成農家として納得のいく良い牛を作りたいと言う思いと、経営者としてのコスト管理のジレンマを抱えておられるようでした。

市場にも自信をもって出せる牛

吉田牧場は預託事業のほかに現在も市場を通じた初妊牛販売も行っています。ですが、どの牛も同様に管理しているため、結果的にすべて市場で評価される牛に仕上がるそうです。「預託の方が良く仕上がることもあるんだよ！」と紳二さんは嬉しそうにお話しされました。市場では最新の情

報はもちろん、客観的な自家牛の評価を知ることができると、飼養管理の振り返りにもなるそうです。もちろん経営上のリスク管理でもあり、前述のコスト高についても、自給粗飼料の増産など自助努力も続けていきたいと言

うことでした。そのうえで、委託農家・預託農家の相互理解のもと、持続可能な価格で引き続き良い牛を作りたいとお話しされました。

現在は初妊牛価格が高騰しており、今後は預託の要望も増えていくことが見込まれます。手間を惜しまずこだわりの牛づくりにのぞむ吉田牧場の牛は、これからも酪農家の経営を支えていくことと感じ

ました。この度はお忙しいところ、本取材に快くご対応いただき誠にありがとうございました。全酪連預託事業に関するご用命は最寄りの全酪連支所まで、ぜひお問合せください。



▲ 納得の仕上がり

名古屋
支所発「2026年セントラルジャパンホルスタインショー」
開催

霊峰富士の全貌がくっきりと見える晴天の中、セントラルジャパンホルスタインショーが静岡県の御殿場市馬術スポーツセンターにて令和8年4月17(金)～18(土)の日程で開催されました。各都府県の共進会やブラックアンドホワイトショーで上位に選出された乳牛が17部門で出品され、グランドチャンピオンや上位入賞を目指して熱戦を繰り広げました。

オフィシャル審査員は有限会社福屋牧場代表取締役

福屋栄人氏、アソシエート審査員はSTジャパン株式会社専務執行役 福屋茂生氏が務めました。15都府県から未經産クラス69頭、経産クラス92頭と多くの出品があり、素晴らしい資質を有する乳牛が一堂に会しました。



(I.S)

名古屋
支所発愛知県酪農農業協同組合で「暑熱対策の講習会」
を開催

愛知県岡崎市にある愛知県酪農センターで同組合主催の「令和8年度酪農に関する全体研修会(西三河ブロック)」が令和8年5月13日に開催されました。演題は「夏場に向けた飼養管理(乳脂肪対策)について」。宮島吉範 獣医師(有あかばね動物クリニック 取締役)が講師を務められました。昨夏の猛暑では多くの酪農家が乳脂肪低下に苛まれる異常事態でしたが、今夏も昨

年同様の猛暑が見込まれるため、その事前対策の一環で開催されました。特に乳脂肪成分切れによるプラントでの受け取り拒否のような事態を未然に防ぎたいとの考えから、愛知県版乳質自主規制も実施されるとのことです。酪農家を含む多数の酪農関係者が集まり、活発な質疑応答も行われました。

(N.S)



▲ 研修会の様子



▲ 愛知県酪農農業協同組合 鈴木康弘組合長

名古屋
支所発

「第5回田原牛枝肉共励会」が開催 —最優秀賞は(株)伊藤牧場、素晴らしい出来栄え—

田原牛肥育倶楽部(JA 愛知みなみ)の枝肉共励会が、5月15日に東三河食肉流通センターにおいて開催されました。田原牛肥育倶楽部は、愛知県渥美半島の田原市で交雑種肥育農家が集まって創立し、「田原牛」の銘柄で生産した牛肉を出荷しています。この枝肉共励会は全酪連主催で今回が第5回となります。自農場の厳選した牛9頭が出品され、枝肉講評では「肉質等級は全て4以上で大変すばらしい内容でした。」との

言葉がありました。特に最優秀賞の(株)伊藤牧場の出品牛は枝肉重量695kg、胸最長筋面積105cm²、ばらの厚さ11.0cm、皮下脂肪の厚さ2.5cm、歩留まり基準値77.4、BMS No.12と非の打ちどころのない素晴らしい出来栄えでした。

講評と入賞者の表彰の後には奥様方も交えて和やかに食事会が行われ、盛況のうちに終了しました。

(N.S)

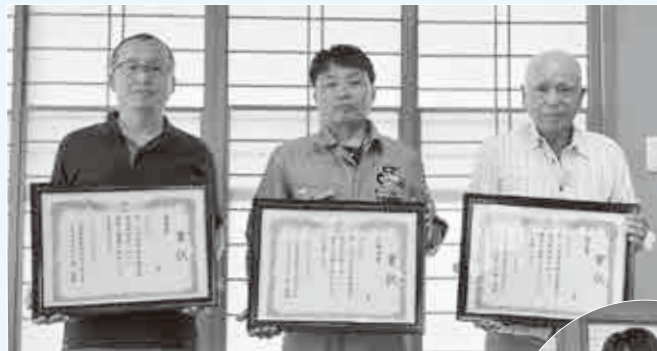
●入賞者

最優秀賞	(株)伊藤牧場	[種雄牛] 福之鶴
優秀賞	内柴孝昇	[種雄牛] 福之鶴
優良賞	渡辺泰克	[種雄牛] 福之鶴

(敬称略)



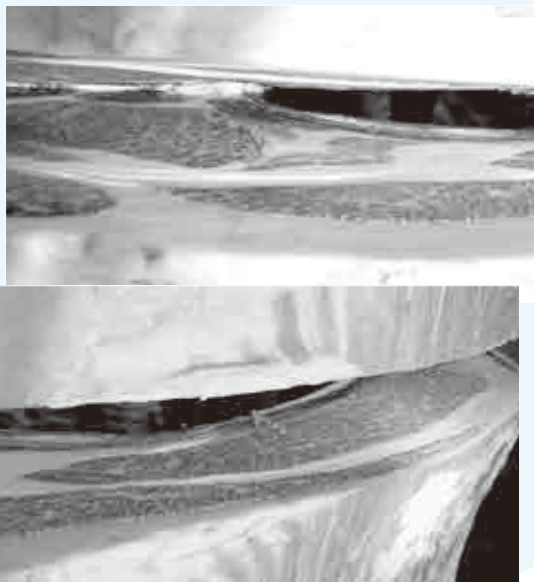
▲ 田原牛肥育倶楽部が出品した枝肉を評価中



▲ 第5回田原牛枝肉共励会の入賞者
左から、渡辺泰克さん(優良賞)、
(株)伊藤牧場 伊藤善徳さん(最優秀賞)、
内柴孝昇さん(優秀賞)



▲ 最優秀賞の枝肉
詰まりもよく、すごいボリューム!



▲ 最優秀賞の枝肉の剖面
BMS No.12、胸最長筋面積105cm²、ばらの厚さ11.0cm、
皮下脂肪の厚さ2.5cm

大阪
支所発「第55回西日本酪農青年女性会議酪農発表大会」開催
西日本代表は長恒 泰裕さん(岡山県)、小川 香奈さん(広島県)

4月6日(月)山口県山口市「セントコア山口」にて、西日本酪農青年女性会議(山下委員長)主催の第55回酪農発表大会が西日本各地から118名の酪友・関係者が参加して開催されました。大会は森原佳之副委員長(山口県)の総合司会を務め、安富由美子副委員長(岡山県)の開会宣言に続き、砂子拓也副委員長(広島県)による綱領唱和で幕を開けました。酪農経営の部では「自分に出来ることをやっていく～牛・地域・家族とともに歩む酪農～」と題しまして山口県酪農青年女性会議の榎本耕大さん、「高水準を貫く酪農経営～循環型モデルで実現する品質と収益性～」と題しましておかやま酪農業協同組合青年部の長恒泰裕さんが発表され、意見体験の部では「行け！我が思いよ！イツショウタイム!!「貴方と一緒に♡」～愛を届ける人になりたくて(*´艸*)～」と題しまして広酪メンバーズクラブの小川香奈さん、「みんなのために じぶんの

ために」と題しまして愛媛県酪農経営者協議会の平田伝之さんが発表されました。審査中には全酪連 前岡職員による「全酪連暑熱プログラム サマーリリーフ」の講演を行いました。審査の結果、酪農経営の部では長恒泰裕さん、意見体験の部では小川香奈さんがそれぞれ中国四国農政局長賞を受賞されました。

大会終了後の懇親会は各会員から持ち寄った地元のお土産賞品の抽選会が始まり、大いに盛り上がりました。これからも当会議の活動の目的の一つとしている酪友が集まりその輪を広げ、絆を強くする活動に取り組んでいきます。なお、長恒泰裕さん、小川香奈さんは7月に沖縄県那覇市内で開催されます第53回全国発表大会において、西日本会議代表として発表されます。全国大会でのお二人のご活躍をお祈りしています。(A.O)



▲ 長恒泰裕さん



▲ 榎本耕大さん



▲ 平田伝之さん



▲ 小川香奈さん



▲ 前列発表者の(左から3番目)平田伝之さん、小川香奈さん、長恒泰裕さん、榎本耕大さん

福岡
支所発

「全酪連ミルクサポートプロジェクト サマーリリーフ2026 牛の健康と酪農経営を支える暑熱対策研修会」開催される

令和8年5月14日(木)、『全酪連ミルクサポートプロジェクト サマーリリーフ 2026 牛の健康と酪農経営を支える暑熱対策研修会』を全酪連福岡支所が主催となり、指定生乳生産者団体である九州生乳販売農業協同組合連合会（中村隆馬代表理事会長）、沖縄県酪農農業協同組合（高宮城実孝代表理事組合長）の協賛のもと、熊本県酪農農業協同組合連合会大会議室での実開催およびWEB（Zoom）によるハイブリッドで行いました。

今般、九州・沖縄地域においては、暑熱の影響による乳牛の健康悪化や生産性の低下、さらには夏季の生乳生産量の減少などが課題となっており、これらへの対応は一層重要性を増している中、暑熱期における乳牛の健康維持と生産性確保に重点を置き、夏場の需要期の生乳確保および「今年の夏を乗り切れた」と実感いただける生産者を1戸でも多く増やすことを目的として開催しました。

九州・沖縄の酪農関係団体・行政に広くご参加を頂き、対面約80名、WEB約50回線の参加者が集いました。

当日は、主催者の全酪連 隈部洋代表理事会長、来賓の九州農政局 生産部畜産課 森武浩一課長、協賛団体を代表し九州生乳販売農業協同組合連合会 中村隆

馬代表理事会長よりご挨拶をいただき講演が始まりました。

まず、株式会社本川牧場 本川和幸代表取締役（大分県酪農農業協同組合 代表理事組合長）より「乳房炎の予防と治療」と題して講演いただき、続いて、全酪連 購買生産指導部 酪農生産指導室 室田哲明室長代理より「暑熱期における飼養・栄養管理の見直しと生産性向上のポイント」と題し講演がありました。

本川代表取締役からは、乳房炎を減らすには、搾乳時の消毒や衛生管理を徹底することが重要であること、原因菌を特定し、原因菌ごとに適切な早期治療を行うことで、重症化を防げることを本川牧場における実際の取り組みを事例にあげて説明されました。

また室田室長代理からは、暑熱対策では、水・送風・換気で牛のストレスを減らすことが重要であり、給餌方法やルーメン管理を工夫し、摂取量低下を防ぎ、バイパス油脂などで栄養密度を高め、生産性維持を目指すことが説明されました。

5月ながら30℃を超える日もあり、今年も暑い夏が来ることを感じさせていますが、「サマーリリーフ2026」を通じて、関係各位と連携し、酪農家の皆さまに「今年の夏を乗り切れた」と実感していただけるよう、全力で事業を進めてまいります。（T.F）



▲ 株式会社本川牧場 本川和幸代表取締役



▲ 案内パンフレット(抜粋)



▲ 全酪連 購買生産指導部
酪農生産指導室
室田哲明室長代理



▲ 九州生乳販売農業協同組合連合会
中村隆馬代表理事会長



▲ 九州農政局
生産部畜産課
森武浩一課長

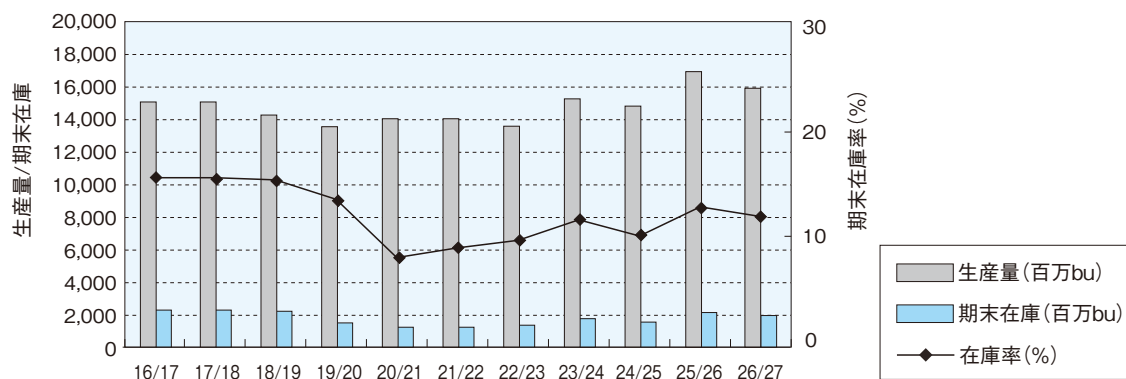


▲ 全酪連
隈部洋代表理事会長

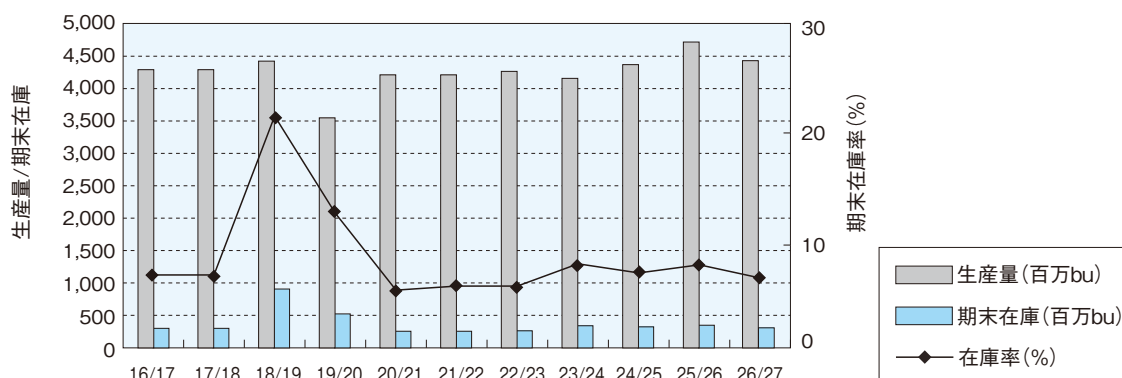


		25/26年産	26/27年産
5月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積 (百万エーカー)	98.8	95.3
	単 収 (ブッシェル/エーカー)	186.5	183.0
	生 産 量 (ブッシェル)	185億9,700万	181億6,200万
	需 要 量 (ブッシェル)	164億5,500万	162億500万
	期末在庫 (ブッシェル)	21億4,200万	19億5,700万
	在 庫 率	13.02%	12.08%
	トウモロコシ 相場動向	25/26年産は供給数量が据え置かれる一方、輸出需要（その他工業用途）が減少した結果、期末在庫は増加した。26/27年産は作付面積および単収の減少により供給数量は前年比減となり、需要面でも飼料・輸出需要の減少から前年比減となった。期末在庫は前年対比減少見込みであるものの、事前予想平均（17億7,600万～21億ブッシェル）のレンジ内となった。今回の需給報告では、旧穀は期末在庫が増加し、新穀は需要量の減少以上に供給量が引き下げられたことを背景に、期末在庫が減少する結果となった。米国の作付進捗は5年平均を上回るペースで推移しており、足元では乾燥傾向が見られるものの、主要作付地域では降雨予報も出ている。一方、ブラジル中北部では今後1週間乾燥予報となっており、引き続き注視が必要である。加えて、中東情勢悪化に伴う原油価格の動向にも注意を要し、当面は価格水準を見極める展開が続く見通しである。	
大豆粕 相場動向	25/26年産は、供給数量は据置となり需要数量は搾油需要が増加となったため、期末在庫は微減となった。26/27年産は、前年対比供給・需要数量共に増加し、需要の増加幅が大きかったことから期末在庫は減少した。シカゴ相場は、米中会談の結果を受け、中国による米国産大豆の購入期待が高まったことから、高値で推移している。さらに、中東情勢の影響による海上運賃の高騰を背景に、輸入大豆粕は前期対比で堅調に推移している。国内大豆粕も輸入と同様に値を上げており、より厳しい環境となっている。		
槽糠類	【一般フスマ】 発生は引き続き順調に推移する見通し。しかし、需要も堅調に推移している様子で在庫は大きく減少している模様。需給は大幅に引き締まってきており、今後の受渡については注視が必要である。		
	【グルテンフィード】 生産が多い時期に入ったこともあって、需給は緩んできている。輸入品も一定量は入船すると思われ、受渡には問題はない見込。		
海上運賃	海上運賃は、中東情勢悪化を背景とした原油高の継続により、高水準を維持している。また、中東からの原油調達難を背景に米国産原油への需要が増加し、パナマ運河を通航するタンカー船が増加している。これに伴う運河混雑や滞船リスク上昇から、喜望峰経由やPNW出しへのシフトが進み、航海日数の長期化が発生している。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和8年5月

海運情勢	<p>北米西海岸航路においては、ゴールデンウィーク前の需要増加に伴い船腹が逼迫しており、入船スケジュールの変更や遅延が発生しております。</p> <p>海上運賃については、中東情勢の緊迫化により原油価格の上昇を受け、大手船会社を中心に緊急燃料サーチャージ（Emergency Fuel Surcharge：EFS）の導入が相次いで発表されております。</p> <p>日本国内の港湾労使交渉については、4月28日に実施された中央団体交渉で妥結し、日本港運協会と労働組合側は2026年度の労働条件改善に関する仮協定書を締結しました。これにより、無期限の夜間荷役拒否は解除され、大規模なストライキは回避されました。</p>
米国産 ビートパルプ	<p>25年産ビートパルプの生産は終了しております。ペレットの生産も5月中にすべて終了する予定となっております。米国産ビートパルプペレットは、ヨーロッパやメキシコからの需要も強くなっているなかで、生産量は減少が見込まれております。エジプト産やヨーロッパ産のビートパルプも値上がりしているため、米国産ビートパルプペレットの価格は今後も底堅く推移すると予想されております。</p>
アルファルファ	<p>現在、ワシントン州コロンビアベースンや、オレゴン州クラマスフォールズでは、26年産の生育が進んでおります。ワシントン州コロンビアベースンではまもなく1番刈りが始まる頃ですが、一部では降雨が発生しているため、雨が過ぎるのを待ってから刈り取りが開始されます。</p> <p>今年は山間部における積雪水量が例年を下回っており、米国北西沿岸部（PNW）の乾燥状態も昨年同時期と比べてやや強まっております。</p> <div data-bbox="900 689 1444 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p style="text-align: center;">アメリカ合衆国の干ばつ状況 (色が濃いほど乾燥度合いが強い) 出典：U.S. Drought Monitor</p> </div>
米国産 チモシー	<p>ワシントン州コロンビアベースンでは、穏やかな環境下でチモシーは順調に生育しています。エレンズバーグの一部圃場で洪水被害があったものの、現時点で大きな品質影響は確認されていません。アメリカ西海岸における作物価格が低迷する中、収益性の高いチモシーの作付面積は前年より増加し、作付面積の拡大が見込まれております。収穫期の天候次第ではありますが、今年は供給数量の改善と価格の安定が期待されております。</p>
カナダ産 チモシー	<p>主要産地であるアルバータ州南部のレスブリッジ（灌漑地域）では、灌漑用水源が回復傾向にあります。作付面積は昨年比で増加する見通しです。現地では酪農家や肥育農家からの引き合いが増加しており、新穀開始時期までに多くの25年産が販売されると予想されております。</p> <p>同州中部のクレモナ（非灌漑地域）では、冬場の降雨・降雪に恵まれ土壌水分は改善傾向にあります。南部同様にチモシーの作付面積は昨年比で増加する見通しです。</p>
スーダングラス	<p>26年産のスーダングラスの作付けは、例年よりも気温が高いことから、通常より早い3月後半から作付けが行われております。近年、スーダングラスの取引価格は低迷している状況が続いておりますが、今年は中東情勢の悪化による燃料費・肥料費が大きく上昇しているため、生産コストが上昇しております。生産者は収益性の低さから作付意欲が低下しており、今後の供給動向には注意が必要です。</p>
クレイングラス	<p>クレインは全酪連の登録商標です。</p> <p>26年産のクレイングラスの作付面積は増加する見込みです。現地では3月上旬からクレイングラスの圃場へ灌漑を開始しており、1番刈りは4月下旬から5月上旬にかけて収穫される見込みとなっております。しかしながら、中東情勢の悪化に伴い燃料費・肥料代は高騰しているため、生産コストは上昇しており、25年産の繰越在庫も少ないため、26年産の取引価格は上昇する可能性があります。</p>
ストロー類	<p>現在、ライグラスおよびフェスクは、穏やかに生育が進んでいます。収穫は、例年8月頃に行いますが、6月前半までの降雨量が品質に影響する重要な時期とされており、引き続き天候には注視が必要です。</p>
豪州産 オーツハイ・ ウィートストロー	<p>現地では26年産に向けた播種が順次進んでいます。ディーゼル燃料や肥料価格の高騰を受け、一部の農家では生産コストが比較的抑えられる豆類・大麦・オーツの作付けを検討しており、今後はオーツハイの生産増が期待されております。</p> <p>豪州国内では前年の干ばつによる自給粗飼料の不作から低級品を中心に国内酪農家からのオーツハイの需要が高く、現地での取引価格は高値を維持しています。加えて、自給飼料不足の韓国や乳価が上昇している中国からの需要も底堅く、価格は堅調に推移しています。</p>

※粗飼料情勢の全文は弊会ホームページに掲載しています。



Jミルクなど8団体

業界一体の需要拡大運動が本格始動 牛乳月間に全国的活動を一元発信

Jミルクはこのほど、オンラインで2026年度（令和8年度）事業説明会を開催した。冒頭、渡辺裕一郎専務はJミルクなど酪農乳業8団体が昨年11月、消費拡大の取り組み強化に向けて再始動を宣言した業界一体の需要拡大運動について言及。2026年度はそれを本格始動（図）する重要な年だと強調した上で「新たな連携による相乗効果で実需が生まれるよう、牛乳でスマイルプロジェクトを本格実施する。まずは6月の牛乳の日・牛乳月間における全国の関係者による活動を集約し、ポータルサイトで一元的に発信していく」と話すとともに、活動への理解と協力を求めた。

また、渡辺専務は高水準で推移する脱脂粉乳在庫に触れ、「脱粉とバター」の需給ギャップ縮小を図るための追加的な対応策について、理事会、総会で一定の方向性を打ち出すことができるよう、現在、戦略ビジョン推進特別委員会の中で議論している」と述べた。

説明会では、Jミルクの主な事業として、生産流通関連事業、戦略ビジョン推進関連事業、コミュニケーション関連事業、学術調査関連事業、国際関連事業での取り組みを報告した。このうち、コミュニケーション関連事業の説明では、牛乳でスマイルプロジェクトのもとで推進している業界一体的な需要拡大活動の主な

スケジュールを説明。牛乳の日・牛乳月間の活動推進を共通テーマに、牛乳・乳製品の価値訴求、酪農乳業への理解醸成に加え、夏の熱中症予防を含むコンテンツを通じて消費行動と習慣化をより強く働きかける。

また、5月11日にはポータルサイト内に『牛乳の日・牛乳月間ページ』を公開した。コミュニケーショングループの鈴木浩子部長は「各地のイベントやキャンペーン情報を一元化し消費者へ情報発信していくため、活動予定を共有いただきたい」と呼びかけた。

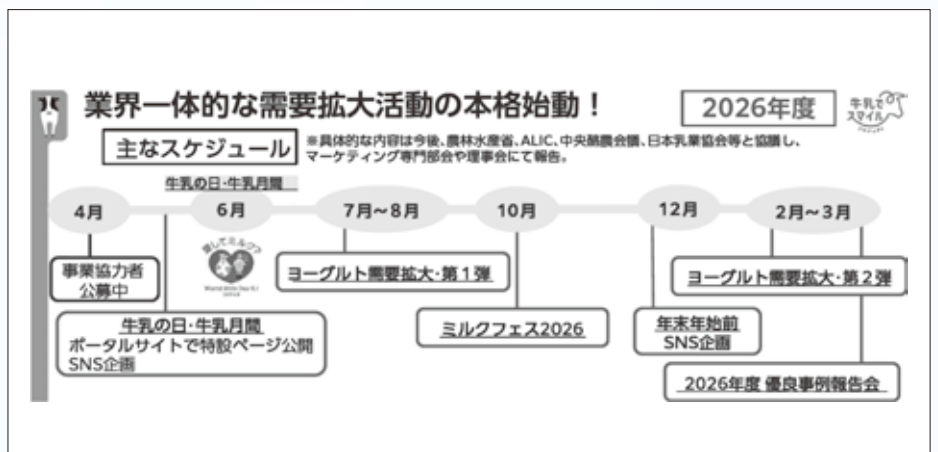
なお、ポータルサイトでのメンバー間のマッチング機能や、全国の関係者が需要拡大活動を行う上でのKPI（数値目標）やテーマ設定等については、今後関係者と協議の上、推進していく。（5月1日・10日合併号）

自民がヒアリング

中東情勢悪化で農業への悪影響懸念 農業生産資材等の優先供給求める

自民党は4月17日、中東情勢の緊迫化による燃料や農業資材への影響について、JA全中や物流団体等

から現場の状況や意見・要望を聴取。そのうち全中は、中東情勢が悪化・長期化した場合、燃料や肥料、



飼料、ビニール資材など多くの農業用資材が価格高騰及び供給不安定化、ひいては秋の収穫作業など農業生産・食料供給に甚大な影響が生じかねないとの懸念を強く表明。他団体と同様、燃料や生産・包装資材を安定的に確保できるような対応を求めた。

冒頭、小林鷹之政務調査会長は、関係省庁等を通じて連日、中東情勢の悪化から様々な物資において目詰まりが起きそうだという報告が現場から上がってきていると説明。「今日は団体の皆様から現場の状況をしっかりと聞きした上で、この目詰まりの解消も含め、政権与党として責任ある対策を打ち出していきたい」と述べた。

会合でJA全中は、必要な対応として、農業等に必要な生産資材等の優先供給をはじめ、現行の生産者向け支援措置の実態を踏まえた要件見直し・拡充を含め、肥料や飼料、燃料等の価格高騰や安定確保に対する万全な支援措置を要望。必要な燃料・包装資材の供給等を通じて、食料の安定供給に必要な流通・加工業者の安定運営に向けた万全な対応も求めた。

(4月20日号)

令和7年度

全国の受託乳量 前年わずかに上回る
北海道1%超増加、都府県は減少続く

中央酪農会議は4月15日、令和7年度の用途別販売実績を取りまとめた。このうち、全国の受託乳量(指定団体に出荷した系統内乳量)は685万2868トンで、前年度比0.4%増。令和4年度、令和5年度は減少、令和6年度は前年度並みだった。地域別にみると北海道は増加、都府県は減少の傾向が続いている。

令和7年度の受託乳量は、北海道は399万7840トンで1.1%増。400万トンが目前となった。一方、都府県は285万5028トン

で0.6%減。都府県を地域別にみると、東北44万6291トン(1.2%減)、関東101万3886トン(0.1%減)、北陸6万1856トン(3.2%減)、東海28万3871トン(0.5%減)、近畿13万3359トン(2.2%減)、中国28万3907トン(0.5%減)、四国9万936トン(0.6%増)、九州53万1921トン(0.6%減)。令和5年度は全地域で下回り、令和6年度は中国のみ前年度並を維持。令和7年度は四国のみ増加した。

(5月1日・10日合併号)

●令和7年度販売乳量

指定団体	4-3月 累計(トン)	前年同期比(%)
北海道	3,997,840	101.1
青森	67,195	99.7
岩手	172,546	98.6
宮城	91,019	100.8
秋田	19,526	99.9
山形	48,619	106.2
福島	47,385	88.1
東北生乳販連	446,291	98.8
茨城	180,937	100.7
栃木	334,602	100.5
群馬	154,108	97.4
埼玉	35,428	98.8
千葉	186,518	101.1
東京	7,709	102.0
神奈川	20,839	94.3
山梨	12,708	102.4
静岡	81,037	99.3
関東生乳販連	1,013,886	99.9
新潟	30,405	95.0
富山	11,434	98.9
石川	14,997	97.5
福井	5,020	101.4
北陸酪連	61,856	96.8
長野	76,102	98.2
岐阜	28,987	99.4
愛知	128,375	98.7
三重	50,408	103.7
東海酪連	283,871	99.5
滋賀	15,240	94.7
京都	15,612	93.9
大阪	7,601	100.4
兵庫	69,498	98.1
奈良	21,465	100.4
和歌山	3,942	101.7
近畿生乳販連	133,359	97.8
鳥取	61,730	101.5
島根	75,979	102.0
岡山	90,867	99.4
広島	40,609	91.7
山口	14,722	101.3
中国生乳販連	283,907	99.5
徳島	19,989	94.7
香川	39,557	103.4
愛媛	23,135	101.8
高知	17,256	100.0
四国生乳販連	99,936	100.6
福岡	56,472	98.0
佐賀	11,349	100.9
長崎	29,507	98.6
熊本	244,779	99.6
大分	65,208	101.1
宮崎	65,445	98.1
鹿児島	59,162	99.3
九州生乳販連	531,921	99.4
都府県	2,855,028	99.4
合計	6,852,868	100.4

全酪新報

- 人が牛乳を必要とし、牛肉を必要とし、緑を必要とする限り、酪農は誇り高い永久の仕事です。
- 明日へ向かって前進する酪農界の動きを全酪新報は正確に報道します。時に怒りの声を、時に喜びの声を…幅広くお伝えします。
- ご家族でご愛読いただける酪農専門紙です。
- 毎月1日、10日、20日発行、年間購読料は6,600円(税込・送料込)です。
- お支払(請求書到着後)は、郵便振替、銀行振込、クレジットカード決済がご利用いただけます。
- 見本紙ご希望の方はお申し出下さい。無料です。(見本紙にバックナンバーは含まれません)

全酪新報/
購読お申込
フォーム



一般社団法人 全国酪農協会

電話 03 (3370) 7213

www.rakunou.org



栄えある 春の叙勲

旭日双光章

原井 松純 氏

元 北海道農業協同組合中央会 理事
元 道東あさひ農業協同組合 代表理事組合長

旭日双光章



久保 吉彦 氏

元 石川県酪農業協同組合 代表理事副組合長

政府は4月29日、春の叙勲受章者を発表しました。全酪連関係及び酪農関係からは、次の方が受章の名誉に輝きました。心からお祝い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。

乳牛産地情報

令和8年6月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇐……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	25~35	↓	札幌管内における5月中旬までの生乳生産量の前年比は、函館管内が月計93.8%、累計94.7%、苫小牧管内が月計93.6%、累計95.0%となっております。6月の初妊牛につきましては、8月下旬~9月下旬分娩が中心となります。道内外での需要が高い状況が続いていることから、相場は横這いで推移するものと見込まれます。また、定期的に庭先購買を実施している地域でもあるため、F1腹、雌雄選別腹、和牛受精卵移植腹ともに確保可能な状況です。経産牛につきましても、道内需要が堅調であることから、横這いで推移するものと見込まれます。優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問い合わせください。
	初妊牛	60~70	→	
	経産牛	45~55	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	25~35	→	根釧管内における5月中旬までの生乳生産量の前年比は、釧路管内が月計98.4%、累計98.7%、中標津管内が月計98.7%、累計99.0%となっております。6月の初妊牛につきましては、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。需要が落ち込む夏分産の出回りとなるものの、乳牛資源の減少により、相場は堅調に推移するものと見込まれます。腹別では、F1腹および和牛受精卵移植腹はやや堅調に推移する見込みです。雌雄選別腹については、資源頭数の減少により、F1腹との価格差が縮小しております。経産牛につきましては、即戦力となる牛への需要が強く、高値で推移するものと見込まれます。育成牛につきましては、夏生まれ牛の出回りが増加する時期となりますが、一定程度の需要が見込まれることから、横這いで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	60~70	→	
	経産牛	45~55	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	30~40	→	帯広管内における5月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計98.4%、累計98.7%となっております。6月の初妊牛につきましては、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。需要が落ち込む夏分産中心の出回りとなりますが、道外需要の高さが見込まれることから、先月同様、横這いで推移するものと見込まれます。腹別の資源状況につきましては、F1腹は出回りが多く、十分に確保できる状況です。一方、雌雄選別腹については地域差があり、F1腹と比較して資源量は少ない状況となっております。経産牛につきましては、産次数が少なく即戦力となる牛への需要が強いことから、相場は横這いで推移するものと見込まれます。育成牛につきましても、一定の引き合いが見込まれます。
	初妊牛	60~70	→	
	経産牛	55~65	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	25~35	→	道北管内における5月中旬までの生乳生産量の前年比は、稚内管内が月計99.4%、累計100.0%、北見管内が月計99.4%、累計99.9%となっております。6月の初妊牛につきましては、昨年の猛暑による授精遅れの影響から、分娩月が夏場へずれ込む頭数も多く、資源量は豊富になるものと予想されます。一方、昨年の猛暑時には、暑熱による分娩事故が多発したことから、夏分産牛は敬遠される傾向にあります。しかしながら、大型牧場による導入需要も見込まれ、相場は横這いからやや弱含みで推移するものと見込まれます。育成牛につきましては、資源量が少なく、春分産を狙った授精が可能な月齢が中心となることから、需要は高まるものと見込まれます。経産牛につきましては、資源量が少ない状況に加え、即戦力牛への需要が高まっていることから、引き合いは堅調に推移するものと見込まれます。
	初妊牛	55~65	→	
	経産牛	40~50	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30~40	→	道内全体における5月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計98.4%、累計98.8%となっております。6月の初妊牛につきましては、夏分産中心の出回りとなることから需要は弱含み時期となりますが、資源量としては増加する時期となります。例年の傾向では相場は弱含みで推移しますが、道内外の大型牧場による導入需要も見込まれることから、並以上の牛については横這いで推移するものと見込まれます。また、道内の酪農家においては、計画的な後継牛確保の動きが強まっており、特に大型牧場では、雌雄選別精液を活用し、必要最低限の後継牛を確保する傾向があります。このため、販売用搾乳用素牛の確保・出回りは減少傾向になるものと思われれます。導入をご検討されている方につきましては、お早めのご注文をお願いいたします。
	初妊牛	60~70	→	
	経産牛	45~55	→	

今月の表紙

今月の表紙は「第15回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「モ〜れつペロツ」(静岡県 丸山葵氏 撮影)です。



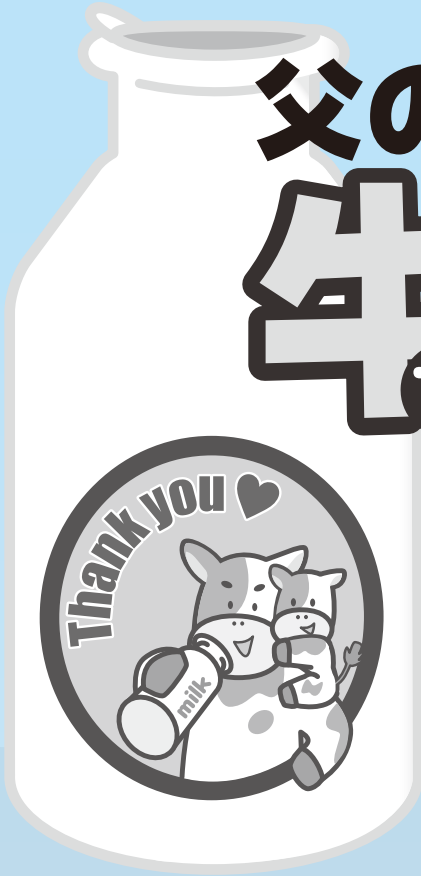
編集後記

- 6月は「牛乳月間」です。今年も全国各地で「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーンを実施中です。安全・安心な国産牛乳をこれからもPRしていきましょう。また、7月には全国酪農青年女性酪農発表大会が開催されます。酪友の皆様が一堂に会するこの大会、多くの皆様のご参加をお待ちしております。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、皆さまどうぞご自愛ください。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

令和8年6月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 6月号 No.729

- 編集・発行人 飯島洋一
- 発行 全国酪農協同組合連合会
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
 TEL 03-5931-8003 <https://www.zenrakuren.or.jp/>



父の日に 牛乳を贈ろう!

今年は
6/21

牛乳を飲んで リラックス&快眠生活!!

牛乳は骨を丈夫にするカルシウムを豊富に含むだけでなく、神経や感情を安定させる働きも持っています。

作品募集のお知らせ

主催：全国酪農青年女性会議

第52回らくのうこどもギャラリーの募集は終了しました。ご応募ありがとうございました。

第16回 酪農いきいきフォトコンテスト

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。

つきましては、下記のとおり作品を募集しますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

① テーマ

- (1)「乳牛のいる風景」
- (2)「酪農作業風景」

※いずれも、酪農家がいきいきと牛乳生産に励む様子や、安心安全な牛乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

② 募集規定

- (1)写真は可能な限りデータで提出してください。
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、**題名・氏名・振り仮名・住所・所属組合名を必ず記載してください。**
- (4)応募点数：お1人様1作品のみ



第15回 特選
「子宮捻転お産中
がんばれ〜牛さん」
吉田明美氏 撮影

③ 応募資格

酪農家

④ 締切日

令和8年6月22日(月) (必着)
または、各地域会議締切日に準ずる。

⑤ 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。

または、下記応募フォームからもご応募可能です。

→[https://form.run/
@zen-rakuseijo-isrslv40YR7rip9DTG2w](https://form.run/@zen-rakuseijo-isrslv40YR7rip9DTG2w)



⑥ 審査方法

応募作品を「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。
※応募多数の場合は事務局による予備審査を行います。

⑦ 審査結果の発表

- (1)「全酪連会報」にて発表します。
- (2)「全酪連会報」の表紙に使用します。(号数未定)

⑧ 褒賞

- ・特選 1点
- ・入選 若干
- ◎入賞者には賞品を贈呈いたします。
- ◎提出していただいた作品の返却はいたしません。
- ◎応募していただいた作品は、全酪連会報およびカレンダーへの掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動(「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーン含む)等で使用することがありますのでご了承ください。

提出先一覧

●北海道酪農青年女性会議

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1
酪農センター5階 全酪連札幌支所内
TEL 011-241-0765

●東北酪農青年女性会議

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町
2丁目10番28号 カメイ仙台グリーンシティ8階
TEL 022-221-5381

●関東甲信越酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-37-2
酪農会館 全酪連東京支所内
TEL 03-5931-8011

●中部酪農青年女性会議

〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6
名古屋三蔵ビル3階 全酪連名古屋支所内
TEL 052-209-5611

●西日本酪農青年女性会議

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10
新大阪トヨビル6階 全酪連大阪支所内
TEL 06-6305-4196

●九州酪農青年女性会議

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15
事務機ビル7階 全酪連福岡支所内
TEL 092-431-8111

1 全酪乳製品セットA

税込**4,212円** (本体3,900円)



内容：とろけるスライスチーズ126g/スライスチーズ126g/スモークチーズ120g/6Pチーズ108g/酪農家めるチーズスプレッド80g/酪農家バター(加塩)200g：各1個
アレルギー物質：乳



2 全酪乳製品セットB

税込**5,940円** (本体5,500円)



内容：とろけるスライスチーズ126g/スライスチーズ126g/スモークチーズ120g/6Pチーズ108g/全酪ゴーダ125g/酪農家めるチーズスプレッド80g/酪農家バター(加塩)200g/全酪パウダーチーズ70g：各1個
アレルギー物質：乳



3 全酪 牛飼いのバター5個セット

税込**4,860円** (本体4,500円)



内容：牛飼いのバター(加塩)200g×5個
アレルギー物質：乳



ZENRAKU Summer Gift 2026

取扱期間

2026年6月15日～8月31日
※一部商品のぞく。

全酪連ギフトオンラインショップ
➔ <https://zenrakuren.stores.jp/>



5 大山おいしいギフトミルク&のむヨーグルト

税込**4,199円** (本体3,888円)

内容：特選大山おいしい牛乳 900ml × 1本 / 大山おいしいカフェ・オ・レ 900ml × 1本 / 鳥取大山のむヨーグルト 750ml × 2本
アレルギー物質：乳



【製造者】 蒜山酪農農業協同組合 (岡山県真庭市)

6 贅沢ヨーグルトと飲むヨーグルトのセット

税込**4,854円** (本体4,494円)

内容：贅沢ヨーグルト 90g × 8 / 飲むヨーグルト 150ml × 3 / のむまんごーヨーグルト 150ml × 3
※無地箱
アレルギー物質：乳



10 蒜山ジャージープレミアムアイスクリーム 8個セット

税込**5,604円** (本体5,189円)

内容：バニラ 120ml × 2 / ミルク 120ml × 2 / 抹茶 120ml × 2 / チョコレート 120ml × 1 / 珈琲 120ml × 1
化粧箱
アレルギー物質：乳 / 卵



【製造者】 美濃酪農農業協同組合連合会 (岐阜県美濃市)

7 ひるがのヨーグルト 80g・ひるがのミルクプリン 80g 各種 12個入

税込**4,968円** (本体4,600円)

内容：ひるがのヨーグルト 80g × 12個 / ひるがのミルクプリン 80g × 12個
アレルギー物質：乳 / 卵



11 白バラプレミアムアイスギフト 8個

税込**4,699円** (本体4,351円)

内容：110ml × 4個 (ミルク、抹茶 各2個) / 95ml × 4個 (いちご、ブルーベリー&クリームチーズ 各2個)
アレルギー物質：乳 / 卵 / 小麦 / 大豆



15 大山焼き菓子詰合せ

税込**4,400円** (本体4,074円)

内容：パウムクーヘン × 1個 / フィナンシェ × 5個 / まんじゅう × 5個
アレルギー物質：乳 / 卵 / 小麦 / アーモンド / 大豆



12 東毛酪農アイスセット 12個入り

税込**6,145円** (本体5,690円)

内容：牧場ミルク × 3 / はちみつバニラ × 3 / ミルクチョコレート × 2 / ミルクコーヒー × 2 / 宇治抹茶 × 2
アレルギー物質：乳 / 卵

※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようご注意ください。



【製造者】 東毛酪農農業協同組合 (群馬県太田市)

13 東毛酪農アイスセット 8個入

税込**4,751円** (本体4,399円)

内容：牧場ミルク × 2 / はちみつバニラ × 1 / ミルクチョコレート × 2 / ミルクコーヒー × 1 / 宇治抹茶 × 2
アレルギー物質：乳 / 卵

※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようご注意ください。



【製造者】 東毛酪農農業協同組合 (群馬県太田市)

17 九州そだち阿蘇山麓塩バターどら 8個入 (BD-8)

税込**4,104円** (本体3,800円)

内容：九州そだち阿蘇山麓塩バターどら × 8個
アレルギー物質：乳 / 卵 / 小麦 / 大豆 / やまいも



【製造者】 南杉谷本舗 (長崎県諫早市)

18 ミルクどら・あまおう苺どら詰合せ

税込**4,230円** (本体3,917円)

内容：ミルクどら × 5個 / あまおう苺どら × 5個
アレルギー物質：乳 / 卵 / 小麦 / 大豆



20 牛乳カステラ・長崎カステラセット

税込**3,888円** (本体3,600円)

内容：370g 2本入り (牛乳カステラ・長崎街道カステラ蜂蜜風味 各1本)

アレルギー物質：乳 / 卵 / 小麦

※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようご注意ください。



【製造者】 中央製乳株 (愛知県豊橋市)

21 MOCHIMORE 7個セット

税込**3,888円** (本体3,600円)

内容：ティラミス (80ml) × 1個 / ホワイトチョコいちご (80ml) × 1個 / 抹茶と黒蜜きなこ (80ml) × 1個 / 塩キャラメル (80ml) × 1個 / ゴルゴンゾーラとカラメルアップル (80ml) × 1個 / マンゴーとマンゴーソース (80ml) × 1個 / アサイーボウル (80ml) × 1個
アレルギー物質：乳 / 大豆 / アーモンド / りんご / バナナ





NEW

4 白バラ乳製品ギフト

税込**3,999円** (本体3,703円)

内容：大山高原生クリームヨーグルト75g×8個／大山バター150g×1個／クリームチーズ180g×1個
アレルギー物質：乳

冷蔵 短時間 常温可

【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)



【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)



8 奥中山高原アイスギフト (S)

税込**5,076円** (本体4,700円)

内容：バニラ／イチゴ／ブドウ／洋なし×各2個
アレルギー物質：乳／卵

冷凍 短時間 常温可

【製造者】奥中山高原農協乳業株 (岩手県二戸郡)

9 奥中山高原アイスギフト (I)

税込**6,372円** (本体5,900円)

内容：バニラ／イチゴ／ブドウ／洋なし／コーヒー／抹茶×各2個
アレルギー物質：乳／卵

冷凍 短時間 常温可

【製造者】奥中山高原農協乳業株 (岩手県二戸郡)



【製造者】蒜山酪農農業協同組合 (岡山県真庭市)



NEW

【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)



【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)

14 白バラ生ロールケーキギフト

税込**4,199円** (本体3,888円)

内容：白バラ牛乳生ロールケーキ 264g (1個) / 白バラコーヒー生ロールケーキ 256g (1個)
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆／ゼラチン

冷凍 短時間 お中元 常温可



【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)



【製造者】株菊家 (大分県由布市)

16 地卵はちみつぷりん9個入

税込**3,996円** (本体3,700円)

内容：地卵はちみつぷりん (90g×9) / ソース (5g×9)
アレルギー物質：乳／卵
※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようにご注意ください。

簡易 短時間 常温可



【販売者】株弘乳舎 (熊本県熊本市)



【製造者】有杉谷本舗 (長崎県諫早市)

19 長崎カステラ3品詰合せセット

税込**3,808円** (本体3,526円)

内容：プレミアム・ショコラ190g / 蜂蜜カステラ185g / いちごみるくカステラ185g (各5カット／本)
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆
※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようにご注意ください。

全品 常温可



【製造者】有杉谷本舗 (長崎県諫早市)



【製造者】 株式会社オホーツククリーンミート
(北海道紋別郡)

22 おこっぺハムギフト (OC-40)

税込4,100円 (本体3,796円)

内容：北海道認証ベーコンスライス80g/北海道ポークフランク220g/あらびきフランク200g/あらびきウイナー95g/ハーブウイナー95g/行者にんにくウイナー95g
アレルゲン物質：乳/豚肉

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可



【製造者】 株式会社オホーツククリーンミート
(北海道紋別郡)

23 おこっぺハムギフト (OC-50)

税込5,400円 (本体5,000円)

内容：北海道認証ベーコンブロック300g/北海道認証ペッパーポーク300g/あらびきフランク200g/パジリコフランク220g/あらびきウイナー95g/ガーリックウイナー95g
アレルゲン物質：豚肉

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可



取扱期間：6/15~7/27
【製造者】 大山ハム株式会社 (鳥取県米子市)

24 大山ハム 食の匠工房6種 詰合せ (DLG-58)

税込5,400円 (本体5,000円)

内容：熟成乾塩ベーコンハーフ80g×1/生ハム(肩ロース)40g×1/カントリーロースト72g×1/ペッパーシンケン72g×1/チーズリヨナー36g×1/あらびきポークウイナー120g×1
アレルゲン物質：乳/豚肉

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可



【製造者】 生活協同組合コープかごしま
(鹿児島県鹿児島市)

25 全酪牛 焼肉セット

税込7,290円 (本体6,750円)

内容：産直牛(国産牛)肩ロース250g/モモ250g
アレルゲン物質：牛肉

冷凍 短冊 名入れ可



【製造者】 株式会社十勝清水フードサービス
(北海道上川郡)

26 十勝清水町 若牛焼肉セット

税込7,560円 (本体7,000円)

内容：十勝若牛タン 200g/十勝若牛味付きサガリ 400g/十勝若牛ミノ 250g/ジンギスカン 450g
アレルゲン物質：乳/小麦/牛肉/大豆/ごま/豚肉/りんご/鶏肉

冷凍 短冊 名入れ可



【製造者】 株式会社十勝清水フードサービス
(北海道上川郡)

27 北海道十勝若牛のカレー よくばり3種食べ比べセット

税込3,996円 (本体3,700円)

内容：十勝若牛のカレー 中辛(200g)×2個/十勝若牛のカレー 辛口(200g)×2個/十勝若牛のキーマカレー(200g)×1個
アレルゲン物質：乳/小麦/豚肉/牛肉/大豆/りんご/ごま/鶏肉/バナナ

短冊 名入れ可

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による)扱いはいたしませんので、予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. 冷凍 冷蔵 マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. 簡易 全 マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. 普通 短冊 マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。
10. 名入れ可 マークの付いている商品は熨斗の表書きにご指定の文字が入り入れられます。商品によりスペースが異なり、全ての文字が入り入れられないこともございます。ご了承ください。
11. お中元 マークの付いている商品は熨斗の表書きがお中元のみとなります。

全国酪農業協同組合連合会

- 本所 酪農部
- 札幌支所
- 仙台支所
- 名古屋支所
- 大阪支所
- 福岡支所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館
 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター
 〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ 8F
 〒460-0008 名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F
 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F
 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前 1-2-15 事務機ビル 7F

TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
 TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
 TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
 TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
 TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
 TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

第53回

全国酪農青年女性 酪農発表大会

in
沖縄

令和8年

7/9 木
10 金

日程

7月9日 木

13:00~13:45 開会式
13:45~15:45 酪農経営発表
16:00~17:55 酪農意見・体験発表
19:30~22:30 懇親会

7月10日 金

9:00~10:30 審査講評・表彰式・閉会式

大会会場・アクセス

会場

「ロワジュールホテル那覇」

〒900-0036

沖縄県那覇市西 3-2-1

Tel 098-868-2222 (自動ガイダンス)



アクセス

それぞれ那覇空港より

- ゆいレールの場合
旭橋駅から徒歩約15分
- 車の場合
うみそらトンネル経由で
約7分。



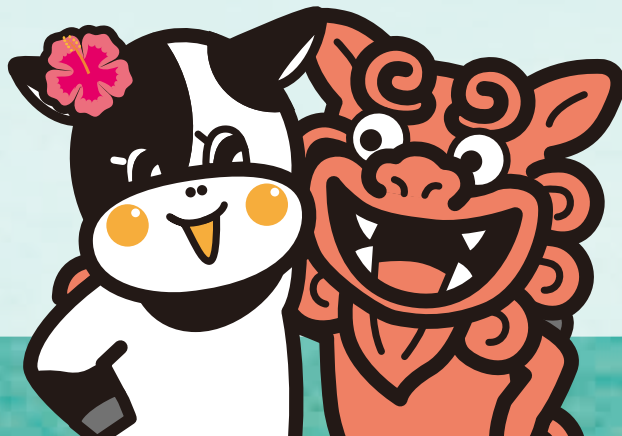
大会参加費

1名 5,000円 (大会のみ)

1名 20,000円 (大会・懇親会)

※懇親会は3時間です。

※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。



今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



うし

認定こども園 北陽幼稚園・第2北陽保育園 5歳（北海道） 三上律由

今月の入賞作品は…

認定こども園 北陽幼稚園・第2北陽保育園 5歳（北海道）の三上律由さんの作品です。

黒いクレヨンを使った力強い線で迷いなく、牛さんを一気に描きました。その所為でしょうか、牛さんの佇まいにどっしりとした存在感があります。両耳と尻尾に緑、紫、ベージュを使い色彩的にも豊かな感性を感じさせるセンスの良いおしゃれな絵になりました。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第51回らくのうこどもギャラリー」で全国304点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議